

## 只見線問題解決に向け視察行動を展開！！ JR 連合、イーストユニオン合同で

8月30日、本部はJR連合と共に只見線問題を解決する為、現地視察を行った。これは、第3回本部定期大会における新潟地本選出藤原代議員発言に对应問題の本質を明らかにすることを目的とするもの。JR只見線問題とは、平成23年7月28日～30日にわたって新潟・福島豪雨により、只見線 小出 - 会津坂下間 113.6km が不通となった。現在、会津川口 - 只見間の 27.6km は不通のままであり、整理工事は行われているが復旧工事は行われていない。

現在は代行バスが運行されているが、該当地域には「このまま廃線になるのではないかと危機感が強まっている問題。



JR 連合政所部長に説明する三瓶部長仙台地本佐藤さん



雨中で視察を決定する視察団。会津大塩駅で

只見線橋梁流出等の原因となった洪水被害については、只見線とほぼ平行して流れる只見川に、東北電力と電源開発がダムを建設したうちの一つ、滝ダムにおいて堆積する砂が貯水容量の低下により、ダムからあふれた水が、只見川で洪水となり、被害を拡大させたとの見方もある。

視察では先の豪雨によって破壊された鉄橋、線路代行バスの実態をつぶさに探索する事ができた。

今回の視察で自然の猛威、時間の脅威を実感すること

とができた。細心の注意を払ってこそ人の生活が成り立つのだと思った。視察終了後、菅野中央執行委員長を交え、視察団、地元仙台地本 鈴木副委員長の参加を得て意見交換会を実施した。意見交換会では喧々諤々議論し問題の本質にせまることができた。私たちの仕事は人の生活の基盤を支える大切なもの。人の暮らし、地域社会の未来をいかに創造するお手伝いができるのか。公共交通とは、私たちにできることは何か。今後、本部は仲間の皆さんと共に考え、悩み、問題解決にむけ行動を展開して行く。

**みんなで考え、みんなで悩み、行動する運動を創り上げていこう！！**



**本部は、今後 JR 連合の仲間と共に整理し、会社に応えて貰うもの、政治を活用し問題解決していくものを峻別し取り組んでいく！！**